



校長室だより

令和4年水無月22日

呉市立宮原中学校

文責 馬屋原美智子

第3号

生徒総会での一コマ

6月2日(金)6校時、今年度の生徒総会が開かれました。1年生にとっては何が行われるのかよく分からない状態で始まりましたが、生徒会の亀澤くんから丁寧な説明があり、「生徒が自分たちの学校生活をより良くしていくために意見を出し合う場」であることを理解したようです。執行部から提案のあった2つのテーマについて事前に学級会をもってクラスとしての意見をまとめていました。

①「部活動後に、着替えずに下校すること」について賛成か反対か。

②「当たり前のことを当たり前『UNITYプロジェクト』について(頑張ったクラスを表彰する)

どちらの提案に対してもクラスで話し合いを行い、意見と共になぜその意見にまとまったのか、具体的な理由(根拠)を述べていました。中には意見が割れて一つにはならなかった学年も、両者の意見の根拠を出して、「なるほど～」と感心させられました。①については学校でも協議し、生徒が決めたルールでお試し期間を経て最終決定する予定です。皆さんの学校生活ですから、自分たちで決めたルールを守ってみんなが気持ちよく過ごせるよう今後も考えていきましょう。

親の力

30数年も教員をしているおかげで、これまで様々な保護者、子どもと出会ってきました。中には子育てに迷い、どう子どもと接して良いか分からず、困っているからと悩みを聞いたりアドバイスしたりすることもありました。担任としてクラス懇談会を行ったときに、テーマとして「携帯電話」について話をした時のことです。今は携帯電話(スマホ)を持たせる親が多い時代になりましたが、まだスマホが出ていない時代にも、携帯電話を買う買わないということで親子で葛藤がありました。ある保護者は「よその子どもみんな持っているから買ってくれとせがまれて買った。」と言いました。クラスに確認すると、持っているのは「みんな」でなく、その子と仲の良い数人でした。一方ある保護者は、「子どもはみんなが持っているから買ってくれと言うけれど、うちは絶対に持たせません。高校生になってからで十分なので、誰が持っていてもうちの方針で持たせないと言っています。それで友達から外されるとか言いますが、そんな友達ならいりません。本人は不満なようですが、契約者は親なので、親がうんと言わなければ携帯は持つことができないからこれでいいんです。」ときっぱり言われました。

ここで大切なのは、子どもの言うことを聞く子どもにとって良い「親」になるか、子どもがなんと言おうと、自分で判断し、その結果も自分で受け止め処理できるようになるまで、良い意味で子どもの壁になる「親」になるのか……。

子どもの言うようにしてやっていたら、子どもと正面から向き合うこともないしトラブル(いさかい)もないから、家の中は穏やかかもしれません。しかし、「ダメなものはダメ」という家庭のルールがないと子どもの要求はエスカレートするし、良からぬ方向に向かっていきます。携帯は一例ですが、いろんなことで「親」として子どもを指導して下さる家庭の子どもは、自分の中に判断基準が育っていくでしょ

う。

判断に迷ったら、「少し考える」といって学校に連絡をください。子育てについて一緒に考えましょう。

「自分の(強くなる)ために必要なしんどさ」

市総体を終え、全部活動が再開した火曜日。ソフトテニス部男子キャプテンの松尾さんと話をする
ことがありました。試合結果や、次の試合に向けて頑張っていることなどを話し、「男子ソフトテニス部は
練習量も増えてしんどいでしょう？」と聞くと、「確かにしんどいけど、自分たちのために良いしんどさ
です。」と言いました。思わず「！！そうだよ。しんどくても頑張ってるから力もついてきてるよね。
そこに気づけるなんてすごいね。」と松尾さんに伝えました。

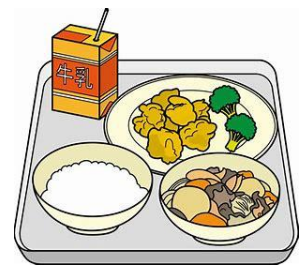
この会話が何を意味しているか、みんなにわかってほしいなと思います。

心の通い合い

本校では給食が実施されており、保護者にとってもありがたいことと思います。
生徒は日によって好き嫌いを述べ、わがまま気ままなことを言うのですが、私は
給食の有り難みをひしひしと感じている一人です。

本校は音戸の給食センターが作り配送してくださっています。私は「検食」と
いって生徒が食べる前に食べ、毎日異物がないかなど状態を確認しています。検食の記録に今日の給食に
ついていろいろコメントを書いて送ったところ、担当者からお返事が来るようになりました。

「味噌汁がとてもおいしいです。」と書いたところ、「お味噌汁が気に入っていただけただよ何よりで
す。味噌汁は5月終盤からダシに使用している煮干しを音戸産に切り替えております。中学生はご飯の量
も多く、夏場はより食べさせるのが難しいと思いますので、今度味噌汁に使用した煮干しの出しがらを使
用してふりかけを手作りしようと思います。」という返信がありました。文字だけのやりとりで顔も分
からないお相手なのですが、文字で感謝の意を示すことで相手からも心の温まるお返事が届き、通い合
いを実感しています。今度みんなの感想もお伝えしようと思います。



「教室におじゃまします」 6月16日(木) 2年数学の巻

呉・賀茂大会を週末に控える木曜日。2年生の数学の教室におじゃましました。最近習った連立
方程式や既に学習している一次方程式を使って「代金と個数を考える」学習でした。2・3年生の
数学を指導している児玉教諭は生徒の理解度を見取りながら丁寧に指導しています。また日常的
に理解の早い生徒がよく分かっていない生徒に説明し、理解させる場面を設定しています。理解
した生徒にとっては自分の説明で相手が理解してくれれば、本当に自分が分かっている証拠にな
るし、分かったという喜びを一緒に感じることもできますね。

